

地域密着のまちづくり・現在奮闘中

新谷 千晶 | SHINTANI CHIAKI

NPO法人あいちNPO市民ネットワークセンター（略称：あいネット）は、8年前生協の仲間と始めた、まちづくりがテーマのNPOです。

生協での「食」の活動を通して、社会のシクミに気づき、同時に問題を解決するには気付いた人が動くことが必要であることも実感・食以外の分野への関心も広がり、NPOを設立しました。

高齢者・障がい者向けのお弁当事業、子どもの食と運動の講座、延藤先生を始め、力のある先人を講師にお願いしてのNPO講座などなど、あいネット発の問題提起型の活動を実施してきましたが…3・4年前から活動が少しずつ変化してきました。理由はあいネットと地域とのキョリの接近です。

はじめは、行政からの地域福祉の事業委託でした。

地域全体を走り廻ることになり、高齢者の方の地域生活をいろ

いろな側面から知ることができました。

更に、協働によるまちづくりを進めるための活動にも係わり、市民活動の調査・地域活動団体・行政への聞き取りなどを実施することで、地域全体の状況がだんだんとみえてきました。

地域密着でのまちづくりを目指す現在、あいネットが引き受ける課題も増え、地域福祉関連3事業・協働推進関連2事業・多文化共生関連1事業・食育関連1事業などと多様に広がっています。

22年度は更に増加していく予感もあり、継続事業も年々変化していくまちづくり活動には、気力・体力の再生産が大事だと思うこの頃です。

草の根まちづくりのNPOとして22年度もひと踏ん張り！して…まちの縁側育きみ隊とも、協働で活動できる日を楽しみにがんばります。



"縁側"に行きたくなる インフォメーションペーパー ENGAWA NEWS

ENGAWA NEWS 2010年2月号
発行：NPO法人まちの縁側育きみ隊
〒461-0002 名古屋市中区代官町29-18
柴田ビル1階 まちの縁側MOMO内
TEL&FAX：052-936-1717
E-mail：info@engawa.ne.jp

■あいちNPO市民ネットワークセンターパンフレット

新谷氏が代表を務めるNPO法人。現在、愛知県みよし市、豊田市を中心に食のふれあい事業、協働のまちづくり事業、地域福祉事業（社会福祉）などを行っている。

http://blog.canpan.info/ai_net_npo/



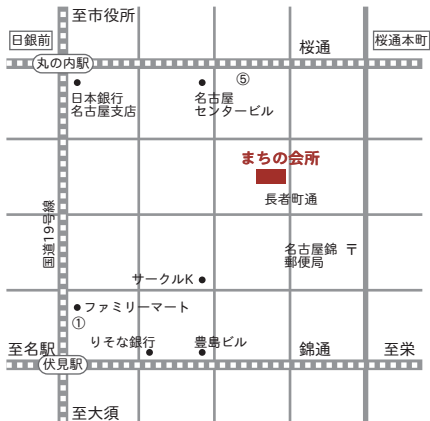
■写真

- 1 地域さろん(施設見学)
- 2 21年7月14日「協働によるまちづくり交流会」
- 3 あいネット・活動展開図
- 4 日本語学習支援教室「みよしこクラブ」の様子

■今月の理事

新谷 千晶（シタニ チアキ）
まちの縁側育きみ隊の理事であり、NPO法人 あいちNPO市民ネットワークセンター代表。知性豊かな女性活動デザイナー。

まちの会所
MACHI no KAISHO



まちの会所
愛知県名古屋市中区錦2-6-13
長者町糸びすビルPart3・2階
アクセス
名古屋地下鉄桜通線丸の内駅下車5番出口
より徒歩3分
問い合わせ先
担当：名畑
TEL&FAX：052-201-9878
E-Mail：info@engawa.ne.jp
錦二丁目まちづくりHP：
<http://www.kin2.bpl.jp/index.html>

■ミクスチャーな暮らしを語りあいませんか？

"おでんのように"個性を生かし、お互いにより美味しく混ざって暮らす"チャーハンのように"ありあわせのものがふれあって、補いあって混ざって暮らす若者も子育てファミリーもお年よりも、自然も地域も、田舎暮らしも都会暮らしも、いざこざも楽しさも、つかずはなれずにゆるやかにまざることで、安心とトキメキをわかちあえる"ミクスチャーハウス"多世代が混ざり合う中で子育てしたい方、子育てがひと段落してご夫婦の新たな住まいを求めている方、一人暮らしを不安に思われている方、ぜひこの住まいづくりにご一緒してみませんか？

参加費：1人様500円
※ご家族でお越しの場合
は大人のみ
集合場所：ゴジカラ村
古民家ざわざわ

アクセス：Aコース
地下鉄東山線「藤が丘駅」よりタクシーで10分もしくは名鉄バス20分「愛知たいようの杜」下車徒歩5分
Bコース
地下鉄東山線「本郷駅」市バス8分「障害者スポーツセンター」下車徒歩10分

お問い合わせ：ゴジカラ村役場
担当：田中
〒480-1131
愛知県長久手町長湫字根嶽29-9
電話：0561-64-5737
FAX：0561-64-5738
主催：ゴジカラ村もうひとつの住まいづくりの会(仮)
協力：ゴジカラ村役場
NPO 法人まちの縁側育くみ隊
愛知産業大学大学院延藤研究室口

OPEN: 月・水・金13:00~17:00
記入無
N
E
錦二丁目関連
まちの縁側育くみ隊
延藤安弘個人

2月

月	火	水	木	金	土	日
1 E[15:00]東京マンション・コミュニティ研究会 E[18:00]東京集合住宅研究会	2 E[13:30]東京稲城市市民公開講座 E[17:00]東京コレクティブハウス聖蹟	3	4 [10:00]錦二交通調査打合せ	5 E[15:00]東京高齢者コレクティブ居住研究会	6 E[14:00]横浜関内・関外まちづくりシンポジウム	7 N[10:00]ゴジカラ村ミクスチャーハウス住み手の会
8 N[7:00]ゴジカラ村ミクスチャーハウス企画会議 [18:00]大ナゴヤ大学長者町ゼミ	9	10	11 E[14:00]東京大府市都市計画マスタープラン講演会	12 [15:00]錦二まちづくりパネルディスカッション [17:30]同交流会 [19:00]トリエンナーレスクール	13 E[13:30]岐阜市柳ヶ瀬まち育て幻燈+まちタンケン	14 E千葉市ピーナッツ10周年幻燈会
15 E[14:45]名古屋小中学校教員まちづくり学習・研修会	16	17	18 E[13:30]岡崎りぶら・運営委員会	19 [19:00]トリエンナーレスクール	20 E[13:00]熊本県水俣市エコハウス・もやいビルド体験	21 E[10:00]熊本県御船町くまもとまち育て塾
22 E熊本→名古屋 N[19:00]NPO理事会	23 N[19:00]ゴジカラ村ミクスチャーハウス企画会議	24	25 E[19:00]岐阜・柳ヶ瀬まち育てワークショップ	26 [19:00]トリエンナーレスクール	27 E[9:30]ASU修士論文公聴会 E[18:00]兵庫県尼崎市潮江まち育て幻燈会	28 N[10:00]ゴジカラ村ミクスチャーハウスワークショップ

萌え系文化は福祉を救えるか？

ゲームの美男キャラクターから火が着き、若い女性中心に戦国武将がブームになっている。かたや美少女キャラクターは相変わらず大人気で、商品のパッケージに美少女キャラをあしらったり、村おこしに使用するケースも出てきている。いわゆる萌え系が日本文化として定着して久しい。

私が住んでいる知多半島でも、いま〈知多みるく〉という名前の美少女キャラクターが、若者たち中心に人気を博している。仕掛けたのは、半田市を拠点として若者のキャリア支援活動をしているNPO法人『エンドゴール』。若者中心のNPOだけあり、勢いがある。昨年11月末に半田市福祉フェアがあり、福祉系の団体やボランティア団体、福祉施設に混じってそのNPOもブースを出していたが、そのNPOのブースだけが異質な存在として目立っていた。大学生ぐらいの若い女の子たちがメイド服を着たり、牛の着ぐるみや、アニメの登場人物の衣装を身にまとい、知多みるくグッズをPR、販売したり、自らの活動の説明に務めていた。

そのNPOと半田市内の障がい者地域活動支援事業所が手を携えあって、この度「知多みるく」をラベルに使用した瓶詰めのはちみつを発売した。「知多みるく」のイラストはプロによるものだが、そのラベルを瓶に貼る作業を障がい者活動支援事業所に委託しているのである。通常、瓶にラベルを貼る作業は1瓶につき0,5円の工賃にしかない。それを50円で委託しているのだ。はちみつの価格が1瓶940円だから、原材料や容器代を除くとこのNPOの収益は限りなくゼロに等しい。

もともとこのコラボ事業を提案したのは、福祉系の学生さんたちだったそうである。障がい者の就労賃金を少しでも高め、それにより次に来るべき障がいをもつ人たちの労働意欲をも高めようという狙いなのだろうが…。この融合が未永く続きますよう願わずにはいられない。



大久保康雄
(オオクボヤスオ)
まちの縁側育くみ隊の理事であり、紙芝居集団・風穴一座座長を務めるなど、多種多様な顔をもつチェアウォーカー

となりの野生生物 こんにちは

今年に入って最初のゲストは、NPO法人生態教育センターの河野慶子さん。河野さんは現在、岐阜県各務ヶ原市にある〈河川環境楽園・自然発見館〉で野生生物の生態を子どもたちにワークショップを通じて教える指導員として勤務されている。

ジネンカフェは、真のノーマライゼーションを広める目的で始まったプロジェクトであり、これまで障がい当事者や福祉系・子育て支援系のゲストが多かったのだが、今年の秋に名古屋で〈生物多様性条約第10回締約国会議〉が開かれることに因み、河野さんにゲストをお願いした。ノーマライゼーションと生物多様性、切り口は社会福祉と環境との分野の違いこそあれ、その目指す方向性は同じであるといえよう。お話のタイトルは、そのまますばりの『となりの野生生物こんにちは』。

河野慶子さんは、1973年神奈川県川崎市の工業地帯に生まれ育った。70年代前半と言えば日本の高度成長期が終焉を迎えた頃である。とはいうものの、まだまだ鉄鋼業や造船業などの第二次産業が栄えていた時代で、公害などという言葉も普通に使われていた覚えがある。特に工業地帯であった川崎や四日市の公害訴訟は有名だ。(因みに乳幼児がかかる「川崎病」という急性の病気があるが、それと川崎市とは無関係である)

そのことと関係があるのかわからないか、ご本人は語らなかったけれど、ひとと野生生物の軋轢に関心をもった河野さんは、NPO法人生態教育センターで活動をはじめ、活動1年目で縁あって現在の勤め先で働くことになった。古い二軒長屋の一軒を借りて住み始めたのだが、古家にはムカデやラゲジゲジなどの招かれざる客がよく姿をみせるものだ。はじめのうちは嫌な思いをされていた河野さんだったが、そこは生物の生態に関心をもつ人だけあってしばらく観察し、対処法を見いだした。そのような招かれざる客たちは、隙間が空いているから姿を現すのであり、その隙間を埋めてやれば家の中には入って来ない。入ってきたとしても、すぐにお引き取り願えるのだ。

人に忌み嫌われているハチやカラスや蛾などの対処法も同じで、相手の習性をよく知り、こちらがそれなりの対応をしていればカラスやハチを怒らせて攻撃されることはないし、人とそれら野生生物との共存・共生は可能なのだ。これはひと対野生生物という図式だけではなく、人間同士の関係性にも言えることだ。対人関係を円滑にしてゆくには、まずは相手を理解する努力が必要なのである。

それとは逆に現在ペットとして人と近い関係にある犬や猫は、もともと野生の動物だったオオカミや山猫を、人間が相手の習性を利用する形で飼い慣らした動物たちであり、人間に飼い慣らされる課程で人々の生活にあうよう、その習性が歪められたり誤解されているのだ。例えば日本では猫といえば魚が大好物だと信じられているが、元来彼らは肉食で、たまた

ま漁師の家で飼われているケースが多く、肉よりも魚の方が手に入りやすかったためだとも言われている。何世代も飼われ続けているうちに魚好きになった種族もいないとも限らないけれど…。人と共に暮らすことが彼らにとって幸せなのか？ ストレスを感じていないか？ という疑問が河野さんの中には絶えずあるという。しかし、それも人間関係に絶えずつきまとっている疑問のように思える。友人同士、恋人同士、親子関係、家族、そしてその地域に住む住民同士…。自分の周りにいて、自分と親しくしてくれている人たちは、自分との関係性の中でストレスを感じていないだろうか…？

自分はきちんと相手のことを理解した上で接しているだろうか…？

結局、人と野生生物、人と人、その親和性を持続させるためには、双方にとって〈心地よい距離感と関係性〉が必要なのかも知れない。そしてその双方にとって〈心地よい距離感と関係性〉とは、当人同士にしか解らないものがあるのだ。

野生生物や自然界の営みを知り、理解することは、人間をも知り、理解することでもある。自然界からみれば人間も他の生物たちと同じで〈ヒト〉という種族にしか過ぎないのだから。

ジネンカフェvol.035

日時：2010年1月17日(土)
11:00~15:30

テーマ：となりの野生生物こんにちは
ゲスト：河野慶子さん

(NPO法人生態教育センター)

参加費：300円(カフェ代別途)

場所：くれよんBOX

主催・共催：NPO法人まちの縁側育くみ隊
かたひらかたろう
くれよんBOX

ジネンカフェ

vol.036

—障がい・健常、あなたのその常識はあたりまえ？—
～多様な個性を認めよう！ 豊かな社会を目指して～

とき

平成22年2月21日(日)

11:30~16:30

ところ

名古屋市
総合社会福祉会館
7F・大会議室

手作り販売

くれよんBOX〈ランチ提供〉
かたひらかたろう〈手づくり品〉
和工房TAN・KEI〈七宝焼・Tシャツ・雑貨等〉
ひょうたんカフェ〈手づくり豆腐・さをり織り製品〉
オリーブ〈クッキー〉

当日のプログラム

プログラム終了後
交流会あり

◆第一部 パネルトーク ～多様な個性を認めよう！ 豊かな社会を目指して～

パネラー (順不同)

- ・M i h o 氏 (NPO法人 まちの縁側育くみ隊 会員) うつ病当事者
- ・賢 マ マ 氏 (日本自閉症協会愛知県支部 会員) 軽度発達障がい当事者
- ・竹内 由美子 氏 (じゃんぐるじむ 代表) 自閉症の子どもをもつ母親
- ・水野 尚美 氏 (NPO法人 共育ネットはんだ 代表) 発達障がい児支援者
- ・坂野 尚美 氏 (名古屋大学国際交流協力推進本部 特任准教授) 社会学者/心理カウンセラー

◆第二部 テーブルトーク

コーディネーター：村田尚生氏 (愛知学院大学総合政策学部准教授)

◆カフェコンサート

シンガーソングライター・ふるもとゆうこさんが奏でる癒しの歌声を聴きながら、
カフェをお楽しみ下さい。

参加費

1,000円

※ランチ飲食代込み

飲み物:コーヒー、紅茶etc

軽食:サンドイッチ、

ソフトタコス

etc

裏面に詳細あり！

主催・共催 (特活) まちの縁側育くみ隊、(特活) くれよんBOX、かたひらかたろう

後援 愛知県、愛知県教育委員会、名古屋市、名古屋市教育委員会、愛知県社会福祉協議会、名古屋市社会福祉協議会
チラシ印刷 サンサン大府

ジネンカフェVOL.036
一障がい・健常、あなたのその常識はあたりまえ？
 ～多様な個性を認めよう！ 豊かな社会をめざして～

平成19年1月から、月に一度のペースで「自分らしく生きること」をテーマに続けてきましたジネンカフェ。障がいの有無に関わらず、人が自分らしく生きてゆくには、その人がその人のまま暮らしに行ける地域社会が求められています。しかし、10人に1人は何らかの精神的トラブルを抱えていると云われる現代。また軽度発達障がい児者やうつ病当事者は、障がいや病気をもちながら、周囲の無理解を避けるように本来の自分を隠し、実際の自分との乖離に苦しみながら生きています。今回のジネンカフェVOL.036では、障がいと健常のあわいに焦点をあて、多様な個性を認めて豊かな地域社会を築くために、立場が違う5名の方々より話題提供をしていただいた後、テーブルに分かれてその話題を踏まえて、誰もが自分らしく生きて行くにはどうしたらよいかを考えるテーブルトークを行います。

＝パネルトーク パネラープロフィール＝

●**Miho氏** (NPO法人 まちの縁側育くみ隊 会員) うつ病当事者
 東京在住。27歳。職業：技術系。2005年4月、就職し上京。問題なく生活を送っていたが、環境の変化から必要以上に仕事にのめり込む。終電間際の時間まで、また泊りがけの残業に加え、資格専門学校へ通うなど、無理を承知で多忙な生活を送る。2007年5月、朝起きられなくなるなど不調を来し始め、うつ状態と診断される。休職、復帰訓練、休職を経て10月に双極性うつ状態と再診断される。2009年3月に再復帰を果たすが、過食に走るなど不安定な状態が続く。6月に幼少期からの夢であったバレエを始め、少しずつ快方に向かう。現在は復帰を目指して訓練中。

●**賢ママ氏** (日本自閉症協会愛知県支部 会員) 軽度発達障がい当事者
 1965年愛知県生まれ。瀬戸市在住。幼い頃より周囲との違和感に悩みながら育つ。知的な障がいがなかったため、幼時には自閉症と気づかれず、配慮が受けられず普通学級でいじめに遭いながら過ごす。12歳の時に自閉症について書かれた本を読み、自分が自閉症だと確信する。2007年にアスペルガー症候群・注意欠陥障がい (ADD) の診断を受ける。19歳の学習障がい児と13歳の知的障がいを伴う自閉症児の母。2007年より地元や近隣の市で講演活動を開始。現在は当事者かつ親としての立場から、発達障がい児・者の感覚や特性を伝える活動を日本各地で展開中。

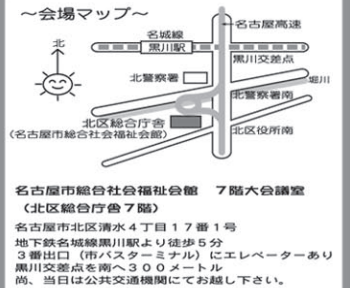
●**竹内由美子氏** (じゃんぐるじむ 代表) 自閉症の子どもをもつ母親
 現在小学5年生と4年生の男の子の母親。次男は知的障がいを伴う自閉症で市内の特別支援学級に在籍。2005年に、障がい児を持つ家族とその支援者の会「じゃんぐるじむ」を立ち上げる。代表としてメンバーと共に、様々なイベントや日進市と協働した事業を行い、行政にも積極的に働きかける。小学校の評議委員としてなど地域の関わりにも力を入れている。うつや障がいについてのイベント企画など行う「クリキンティ」の代表でもある。(障がいの有無や種別、地域にとらわれない活動を実践中)

●**水野尚美氏** (NPO法人 共育ネット半田 代表) 発達障がい児支援者
 半田市に生まれ育つ。半田市民生児童 主任児童委員として様々な環境で育つ子どもたちや保護者と出会い支援を継続する中、発達障がい児のバスケットボールチーム「ableBBC」を日本福祉大学・学生サークル「白夜」、夫と共に立ち上げる。様々な活動を通して子どもたちが「出会い」と「体験」を重ねる必要性を感じていた仲間たちと共に「半田中学校共育ネット」を設立。様々な経緯を経て、平成21年4月、「NPO法人 共育ネットはんだ」として改編設立。現在、発達障がい児の生活力アッププロジェクトを設立準備中。

●**坂野尚美氏** (名古屋大学国際交流協力推進本部 特任准教授) 社会学者/心理カウンセラー
 中京大学社会学研究科にて、社会学修士を修了後、ニューヨーク大学にて社会福祉学の修士課程で勉強したあと帰国し、あいちピアカウンセリング/カウンセリングセンターにて、ピアカウンセリングの実践や、ピアカウンセラー養成講座を立ち上げ、活動するかわら、名古屋大学医学系研究科で精神医学を専攻。現在は、名古屋大学留学相談室で、留学生の相談支援を行っている。

タイムスケジュール

11:00 開場	14:45 休憩
11:30 出張くれよんカフェ	14:55 テーブルトーク/発表
ふるもとゆうこさんミニコンサート	16:25 終わりの言葉・連絡事項
13:00 はじめの言葉	
13:05 パネルトーク	閉会后、会場を変えて交流会を行います。 (18:00~20:00)
「多様な個性を認めよう! 豊かな社会をめざして」	会場は未定ですが、名城線「久屋大通」駅 付近のお店を予定しています。



※申し込み締め切りは 平成22年2月15日(月)まで。 定員80名・先着順です

申し込みはメール、電話、FAXで

●住所 〒 -

- 氏名
- 電話番号(携帯でも可)
- E-mail
- ランチ 希望する・希望しない(参加費は変わりません)
- 交流会 参加する・参加しない(参加費は別途)

～申し込み先～

NPO法人まちの縁側育くみ隊
 名古屋市東区代官町29-18
 柴田ビル1階 まちの縁側MOMO内
 Tel/Fax 052-936-1717
 E-mail ookubo@engawa.ne.jp

まちの縁側MOMOの「おいしい、たのしい、あったかい」ダンランの数々。
ぜひ、ご参加ください。

**山田郁子さんの伴奏のもと、
さあ歌いましょう！**



童謡からシャンソンまでおなかの
底から声を出して歌いましょう
日 時：2月9日(火)
10:30～11:30
参加費：500円(お茶代込)

手作り楽しもう会



「ミニスカジャンズをエプロンに…」
リサイクルを楽しみましょう！
日 時：2月5日、26日(金)
10:00～12:00
参加費：700円(お茶代込)
+材料費500円

ダンボール工作

東区多世代の出会いと交流の居場所づくり事業



2月はプロペラハットを作ります！
日 時：2月18日(木)
15:30～17:30
講 師：図画工作むらた
材料費：500円

ごま食堂の月イチ食堂

第2土曜日の夜は・・・



「旬の野菜・豆・雑穀を使った
ビストロ料理」
日 時：2月13日(土)
18:00～22:00
料 金：1,500円(別途ドリンク代)

食楽だんらんもも屋

第3土曜日の夜は・・・



日 時：2月20日(土)
19:00～22:00
参加費：1品(お酒or食べ物)持寄り
※飛入り参加は500円
※お酒は有料で用意して
います

お食事とお菓子MIL

第4土曜日のランチは・・・



「野菜を中心とした
月毎の薬膳ランチ」
日 時：2月27日(土)
11:00～16:00
料 金：800円
1日20食限定

つどいの広場♪ハーモニー♪

平成21年度なごやつどいの広場助成事業



0～3歳の子どもさんと親ごさんで参加していただけます
日 時：月・水・木 10:30～12:30
※11:30よりランチタイム
※お弁当は持参も注文もOK(注文は1個500円)
※祝日はお休みさせていただきます
参加費：300円/1回(保険料含む)

パソコンなんでもコーナー



パソコン・インターネットに関する簡単な質問・相談コーナー!!
日 時：毎週水曜日・金曜日
14:00～17:00
講 師：堀靖郎さん
料 金：500円(お茶代込)

《春を呼ぶ草木染めスカーフ&
キッチン手作り小物展》
下條和子さん&家坂美朱さんの小
物を展示します。
期 間：2月2日(火)～2月26日(金)

《笑いとしあわせを羊毛で紡ぐ
～ティーコゼ作りワークショップ》
日 時：2月20日(土)、21日(日)
10:30～17:00
講 師：坂本智琴さん
参加費：12,000円(材料費・ラン
チ・お茶お菓子込み)
※ランチはサトーカーコさんの手
作り弁当
※お茶とお菓子は林理恵さん



《きく子さんの
プリザーブドフラワー&
とっておきのティータイム》
暮らしを彩るお花とお茶のひと
ときを過ぎませんか？
日 時：2月5日、19日、26日(金)
13:00～14:00
講 師：森内きく子さん
内 容：プリザーブドフラワーの
かわいい作品作りとお話
：500円
とっておきのティータ
ム：700円
※ハーブティ(高橋美保子さん)&
お菓子(林理恵さん)付き



まちな縁側MOMO
愛知県名古屋市東区代官町29-18
柴田ビル1階
アクセス
名古屋地下鉄桜通線車道駅下車①番出口より徒歩10分
名古屋地下鉄東山線新栄町駅下車②番出口より徒歩10分
問い合わせ先
担当：延藤節子
TEL&FAX：052-936-1717
E-Mail：momo@engawa.ne.jp

2月

OPEN: 火～金 13:00～17:00
OPEN: 土・日 イベント開催日

月	火	水	木	金	土	日
[10:30] つどいの広場♪ 1	[10:30] つどいの広場♪ [14:00] パソコンコーナー 2	[10:30] つどいの広場♪ [14:00] パソコンコーナー 3	[10:30] つどいの広場♪ 4	[10:00] 手作り楽しもう会 [13:00]プリザー ブドフラワーWS [14:00] パソコンコーナー 5	 6	 7
[10:30] つどいの広場♪ 8	[10:30] 山田郁子 さん伴奏のもとに さあ歌いましょう! 9	[10:30] つどいの広場♪ [14:00] パソコンコーナー 10	建国記念日 11	臨時休業 (都市景観賞授賞式) 12	[18:00] ごま食堂 13	 14
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: fit-content;"> 春を呼ぶ草木染めスカーフ&キッチン手作り小物展 2月2日(火)～2月26日(金) </div>						
[10:30] つどいの広場♪ 15	 16	[10:30] つどいの広場♪ [14:00] パソコンコーナー 17	[10:30] つどいの広場♪ [15:30] ダンボール工作 18	[13:00]プリザー ブドフラワーWS [14:00] パソコンコーナー 19	[10:30] 笑いとしあわせ を羊毛で紡ぐ ～ティーコゼ作り [19:00] もも屋 20	[10:30] 笑いとしあわせ を羊毛で紡ぐ ～ティーコゼ作り 21
[10:30] つどいの広場♪ 「歯と脳のお話」 22	 23	[10:30] つどいの広場♪ [14:00] パソコンコーナー 24	[10:30] つどいの広場♪ 25	[10:00] 手作り楽しもう会 [13:00]プリザー ブドフラワーWS [14:00] パソコンコーナー 26	[11:00] MIL・Cafe「野菜 を中心とした月 毎の薬膳ランチ」 27	 28

"縁側"に行きたくなる
インフォメーションペーパー

ENGAWA NEWS

ENGAWA NEWS 2010年2月号
発行：NPO法人まちの縁側育くみ隊
〒461-0002 名古屋市東区代官町29-18
柴田ビル1階 まちの縁側MOMO内
TEL&FAX：052-936-1717
E-mail：info@engawa.ne.jp

まちの縁側MOMOの日常
Daily life of MOMO 

笑った！回った！「新春 こども達人芸」

平成22年1月16日（土）、今年の初イベントとして新春イベント「こども達人芸」を開催しました。

"KOHARU亭たいちろう"こと田中太一郎くんから幕が開きました。演目「親子酒」の酔っ払っていき様に、客席は大爆笑です。弟"KOHARU亭けいじろう"こと田中啓二郎くんは、大人顔負けの話術としぐさで本当に味のある落語「鷺とり」を聞かせてくれました。

次に登場したのが、けん玉の渡辺竜典くん。難しい技を難なくこなし大きな拍手が沸き起こります。そして、場所をどんぐり公園に移し、"こまばかトリオ"ではなく"イケメントリオ"の東哲平くん、渡辺大典くん、渡邊啓太くんの3人が軽快なリズムに合わせてディアボロを披露してくれました。



名古屋市都市景観賞

「まちづくり部門」受賞

このたび、「まちの縁側MOMO」は、第23回名古屋市都市景観賞「まちづくり部門」を受賞いたしました。

授賞式は2月12日（金）です。「まちの縁側MOMO」は、NPO法人まちの縁側育くみ隊の1つのプロジェクト「縁側事業」として2003年から活動をしています。出会いの「縁」が「輪」になって広がり、誰にとっても居心地のよい地域になることを願って、人とまちを結ぶ様々な活動を行うことを目的としています。

そして、2007年5月に現在の東区代官町に移り、隣接する「どんぐり広場」も利用しながら、地域と人々の新しい縁をつなぎ、異なった価値観から共助の関

係を創り出し、ゆるやかに地域の絆を深めていけるよう縁側活動を続けています。

平成21年4月に名古屋市都市景観に応募しました。第1次・第2次を通過し、6月終わりに第3次審査の通知をいただき、第3次審査通過したのは7団体でした。

9月、発表のプレゼンに備え、どのように「まちの縁側MOMO」の活動を伝えられるかを考え、現在の縁側活動を中心とした取り組みをパワーポイントにまとめる作業を始めました。発表の制限時間は8分。MOMOの良さは、イベントに参加して下さったみなさんの笑顔です。そこで、ラスト1分には、みなさんの笑顔写真を♪風になりたい♪にのせて

スライドで紹介することにしました。

10月18日（日）、第3次審査プレゼンに名古屋都市センターへ行きました。8分間のプレゼンを終え、スタッフ一同ほっとするとともに、「まちの縁側MOMO」としての役割・目的を再確認したことを覚えています。そして12月21日、受賞の報告をいただきました。

これもひとえに、MOMOの活動を見守り、参加し、応援して下さった皆様のおかげと感謝しております。

今年も皆さんの縁をつなぎ、笑顔あふれる1年にしたいと思っていますので、どうぞ「まちの縁側MOMO」を引き続きよろしくお願いたします。